

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

土地開発により同時期に入居された住宅の多い地域が担当エリア。そこに居住されている世帯が等しく高齢化している。各町内会、自治会での独居高齢者、高齢者世帯への取り組みは実施されているが、全地域、各世代における潜在的なニーズの把握が実施されていなかった。昨年度、地区社協との共催で取り組んだアンケート結果から高齢世代だけではない、生活課題も抽出された。子育て世代、高齢世代の課題に対して、地域でのネットワークを構築し協働にて取り組んでいくと同時に地域活動の担い手の創出にも取り組んでいきたい。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地区社協との共催で、2019年度実施したアンケート集計結果を可視化し(ふくほしらね特別号発行)、各町内会、理事会や地域住民に情報提供を行う。2019年度白根地区連合町内会、地区社協定例会でアンケート集計結果説明会を行ったが、白根地区支え合い連絡会でも説明会を開催しネットワークを通じ情報を共有できる場をつくる。地域が我が事として、主となり課題に取り組むことができるよう環境を整え、専門職が一体となり支援していく。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地区社協との共催で、2019年度アンケート結果から、地域、高齢者など日常生活の困りごとに、対応できるボランティアグループの立ち上げに向けて、説明会や研修講座等を開催する。また、子育て世代の困りごとに対し、「横浜サポートシステム、パソコン教室、災害の備え」等を取り入れた講座を開催し、地域が主となり、社会資源が創出・継続・発展できるよう支援を行っていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	昨年度立ち上げた支え合い連絡会の定期的な開催を通して、地域の福祉施設や福祉サービス事業所の取組や活動内容の情報を共有し、地域とのネットワーク構築に取り組む。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	SOS協賛店との顔の見える関係作りとともに、SOS協賛店マップの作製に取り組む。マップを活用してSOS協賛店同士のネットワークの構築を目指し、情報共有の場を作る。共有可能な情報は地域へ発信していく。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	子どもを中心に保護者、地域の方たち誰もが集える場作り。プログラミング活動を主に、遊びや、学習ができる学びの場。また、みんなで一緒に食事ができるサロンを作る。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

令和2年度横浜市白根地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	福祉サービスご利用に関しては、複数のパンフレットやインターネットを利用して事業所選択への支援を行う。ケアマネジャーの事業所選択に際しては、旭区から提供される居宅介護支援事業者空き情報を提示し、本人、家族の希望に沿った選択が出来るよう助言していく。	全体での個人情報保護研修を年に2回以上実施。また、毎月実施している職員全体研修で、ヒヤリハット事例の共有・検証を行い、個人情報保護に関して、常に自己チェックを促し、事故防止に努めていく。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	住み慣れた地域で要介護状態に至らず暮らし続けられるよう介護予防支援計画を作成する。	住み慣れた地域で、安心して日常生活を営めるように、ご利用者様の意向に沿った適切な自立支援志向型のケアプランを作成する。
職員体制	主任ケアマネジャー(管理者兼務)、保健師、社会福祉士	介護支援専門員:常勤4名(専従3名、管理者兼務1名)
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標			
実施体制	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担			
職員体制			
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和2年度「横浜市白根地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,093,635		16,093,635		16,093,635	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	169,502		169,502		169,502	
収入合計	16,263,137	0	16,263,137	0	16,263,137	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,826,529	0	10,826,529	0	10,826,529	
本俸	8,372,829		8,372,829		8,372,829	
社会保険料	945,000		945,000		945,000	
手当計	1,415,000		1,415,000		1,415,000	
健康診断費	3,700		3,700		3,700	
勤労者福祉共済掛金			0		0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	90,000		90,000		90,000	
その他			0		0	
事務費	1,619,888	0	1,619,888	0	1,619,888	
旅費	32,000		32,000		32,000	
消耗品費	225,888		225,888		225,888	
会議賄い費			0		0	
印刷製本費			0		0	
通信費	650,000		650,000		650,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	16,000		16,000		16,000	
職員等研修費			0		0	
振込手数料	1,000		1,000		1,000	
リース料	45,000		45,000		45,000	
手数料			0		0	
地域協力費			0		0	
その他	650,000		650,000		650,000	
事業費	530,837	0	530,837	0	530,837	
運営協議会経費	42,000		42,000		42,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	488,837		488,837		488,837	
その他			0		0	
管理費	1,729,230	0	1,729,230	0	1,729,230	
光熱水費	796,261		796,261		796,261	
清掃費	476,212		476,212		476,212	
機械警備費	93,852		93,852		93,852	
設備保全費	212,905	0	212,905	0	212,905	
空調衛生設備保守	144,965		144,965		144,965	
消防設備保守	52,140		52,140		52,140	
電気設備保守	15,800		15,800		15,800	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費			0		0	
共益費			0		0	
その他	150,000		150,000		150,000	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
公租公課	1,082,653	0	1,082,653	0	1,082,653	
事業所税			0		0	
消費税	1,082,653		1,082,653		1,082,653	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	16,263,137	0	16,263,137	0	16,263,137	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	488,837	0	488,837	0	488,837	
自主事業費 支出	488,837	0	488,837	0	488,837	
自主事業 収支	0	0	0	0	0	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和2年度「横浜市白根地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	22,465,551		22,465,551		22,465,551	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,792,898		5,792,898		5,792,898	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
収入合計	28,412,449	0	28,412,449	0	28,412,449	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,906,117	0	25,906,117	0	25,906,117	
本俸	15,021,617		15,021,617		15,021,617	
社会保険料	3,400,000		3,400,000		3,400,000	
手当計	7,000,000		7,000,000		7,000,000	
健康診断費	10,000		10,000		10,000	
勤労者福祉共済掛金			0		0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	430,000		430,000		430,000	
その他	44,500		44,500		44,500	
事務費	714,426	0	714,426	0	714,426	
旅費	30,000		30,000		30,000	
消耗品費	129,426		129,426		129,426	
会議随費			0		0	
印刷製本費			0		0	
通信費	240,000		240,000		240,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	4,500		4,500		4,500	
職員等研修費			0		0	
振込手数料	500		500		500	
リース料	10,000		10,000		10,000	
手数料			0		0	
地域協力費			0		0	
その他	300,000		300,000		300,000	
事業費	1,206,240	0	1,206,240	0	1,206,240	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算・指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	107,240		107,240		107,240	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	315,000		315,000		315,000	予算・指定額
その他			0		0	
管理費	459,666	0	459,666	0	459,666	
光熱水費	151,535		151,535		151,535	
清掃費	126,588		126,588		126,588	
機械警備費	24,948		24,948		24,948	
設備保全費	56,595	0	56,595	0	56,595	
空調衛生設備保守	38,535		38,535		38,535	
消防設備保守	13,860		13,860		13,860	
電気設備保守	4,200		4,200		4,200	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費			0		0	
共益費			0		0	
その他	100,000		100,000		100,000	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算・指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	28,412,449	0	28,412,449	0	28,412,449	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	576,240	0	576,240	0	576,240	
自主事業 収支	△ 576,240	0	△ 576,240	0	△ 576,240	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和2年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市白根地域ケアプラザ

令和2年4月1日～令和3年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	5,172		5,172	3,015		3,015	25,707		25,707			0			0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	収入合計(A)	5,172	0	5,172	3,015	0	3,015	25,707	0	25,707	0	0	0	0	0	0
支出	人件費			0			0	21,200		21,200			0			0
	事務費			0			0	1,000		1,000			0			0
	事業費			0			0	281		281			0			0
	管理費			0			0			0			0			0
	その他	4,016		4,016	2,411	0	2,411	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	4,016		4,016	2,411		2,411			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	支出合計(B)	4,016	0	4,016	2,411	0	2,411	22,481	0	22,481	0	0	0	0	0	0
	収支 (A) - (B)	1,156	0	1,156	604	0	604	3,226	0	3,226	0	0	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和2年度 自主事業計画書・報告書

<p>■ 事業</p> <p>1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業</p> <p>3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）</p> <p>6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1：優先的に取り組みが求められる事業</p> <p>2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児</p> <p>4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者</p> <p>7：その他</p>
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	白根ケアプラザ大学	令和元年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	体力づくり・認知症予防・お口のお手入れ等の介護予防、自分らしいエンドステージを迎えるため必要な準備・手続きなど、地域住民が人生のエンドステージまでの準備・予防について総合的に学ぶ機会として頂く。	1:高齢者		口腔、認知症、栄養、終活 5/20入学式 6/17コグニサイズ 7/15栄養アップ 8/19生前整理 9/16お口の健康 10/16お口の健康2 11/21お葬式 12/16栄養アップ2 1/20もしも手帳・介護保険 1/17防災訓練	5	
2	行政書士サロン・個別相談会	令和2年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	成年後見制度や公正証書などについて、茶話会を通じて学んでいただくことで身近に感じて頂く。	1:高齢者		エンディングノートを使用した行政書士によるミニ講座、茶話会 6/6、11/14	5	
3	司法書士相談会	平成30年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	法律等に関する相談に、より専門的に対応できるよう実施。成年後見制度の普及啓発と相続や遺言を通じ、地域ケアプラザの総合相談窓口としての役割を普及する。	1:高齢者		司法書士を講師として招き1回2~3組までの相談会の開催。 9/5、2/6	5	
4	世界アルツハイマーデー 認知症サポーター養成講座&映画上映会	平成28年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	アルツハイマーデー月間において、認知症に関する映画を上映する。その参加者に対し、認知症サポーター養成講座を実施し、認知症の正しい理解と、正しい対応について広く普及啓発する。	5:地域		映画上映の前に認知症サポーター養成講座を実施。横浜市の現状、認知症の特徴、病理、認知症の方への対応・サポーターの役割等を学んで頂く。その後映画を観ることによって認知症への理解に関して普及啓発。9/26	1	
5	スクエアステップ	令和元年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	前年度行ったスクエアステップ体験会で、キーパーソンの発掘と参加者を多く募ることができた。そのため今年度白根エリアでスクエアステップの元気づくりステーションの立ち上げを行う。	5:地域		6月18日、7月8日、7月22日、8月6日 計4回の実施。 以降元気づくりステーションへ		
6	親子でエンジョイ・リトミック	平成29年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	音楽に合わせて体を動かすことで、身体と心の成長を促すと共に、親子、地域のコミュニケーションを築く。今年度後期(9月)より自主サークル化を目指す。	3:養育者及び乳幼児		ピアノに合わせて、楽器(カスタネット等)を使って歌ったり語ったりすることで、リズム感を養う。第1火曜日		
7	おやこのたまりば	平成30年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	空き部屋を開放する事で、季節や天候に左右されず遊べる場所を提供し、自由に利用してもらうことで仲間づくりを推進する。	3:養育者及び乳幼児		団体利用の申し込みが決定した後に、空き部屋を開放して有効活用する。スタッフが常駐しない事で自由な意見交換を期待するが、安全を確保するために利用ルールを周知し、保護者に理解・協力をお願いする。不定期		
8	ハッピーおやこたいそう	令和2年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子いっしょに運動を楽しむことで運動機能の向上を図る。親子間のスキンシップ・コミュニケーションを深める。	3:養育者及び乳幼児		親子の運動で互いの基礎体力を刺激し合う。ボール・障害物遊びを通して、子どもの発達成長に必要な動きの基礎を身に付ける。第4木曜日		
9	離乳食講座	令和2年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	要望の多かった離乳食講座、赤ちゃんの身体の発達に合わせた離乳食の進め方や調理方法を学び、お母さんの悩み解決に導く。また、共通の話題を通じ仲間づくりに繋げる。	3:養育者及び乳幼児		ニーズの強い、離乳食中期、後期の調理ポイントのアドバイス。実演と試食。参加者からの質疑応答。5月29日、7月31日、10月30日、令和3年1月29日		
10	キッチンランド	令和2年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	小学生とご家族を対象に料理を作る楽しさと、成長期の子どものような食品が必要かを学ぶ。また、食品ロスについても調理しながら話し合い、食育に繋げる。	4:子ども・青少年		お菓子にこだわらず、季節に合った料理を作ることで食材の旬を感じる。1回目は母の日に合わせお菓子で行う。 5月3日・8月・12月・令和3年2月全4回	5	
11	はじめてのヨガ	令和2年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	お母さんの産後ケアと赤ちゃんとのふれあい。講座を通じてママ同士の交流を作り、仲間づくりのきっかけとしてもらう。	3:養育者及び乳幼児		10:30~11:15 ヨガレッスン 11:15~11:45 交流タイム(お茶菓子を用意)第1金曜日全12回		
12	にこにこサロン	平成27年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	2021年度より地域主導のサロンに移行していく為、参加者やボランティアに、自主化(団体I)の担い手として活動していただくため支援していく。企画、運営を一緒に試行し、講座の開催を通じて保育のスキルアップと安全について学んでいく。	3:養育者及び乳幼児		読み聞かせ、ミニイベント等を開催し参加者間、ボランティアとの交流を行う。第3火曜日		
13	にこにこサロンと太陽の子保育園と水あそび	令和元年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	保育園のプレ体験を兼ねた夏の水遊び。保育園と共催で、保育園とサロン参加の親子の交流を図る。	3:養育者及び乳幼児		10:30~11:30 太陽の子白根保育園園庭にて水あそび 2部に分け、安全面を考慮した内容とし、園長先生の誘導のもとで実施。第3火曜日		
14	プレママ/パパのはじめて体験 in 太陽の子保育園	令和2年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	プレママ、パパとの交流。ケアプラザの子育て支援取り組みの体験をし、ケアプラザの機能を周知することで、生まれる前から繋がりをもち支援に取り組む。	3:養育者及び乳幼児		ケアプラザの子育て支援取り組みの紹介。太陽の子白根保育園にて、保育士による「赤ちゃんふれあい体験」を実施。ママ同士の交流時間を設ける。8月31日(月)・11月30日(月)		
15	絵本から飛び出すお菓子づくり	令和2年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	保育園と共催で開催することによる、地域の子育て支援の一環。食育と交流を目的とする。	3:養育者及び乳幼児		10:30~11:00 読み聞かせ(旭図書館読み聞かせボランティア)11:15~11:45 絵本とお菓子づくり12:00~13:00 フリータイム。令和3年1月19日(火)		

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
- 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
- 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
- 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
- 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
- 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
16	お習字クラブ	平成30年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の子育て支援を目的に習字を通して日本古来の伝統である毛筆文化を継承する。保護者や子供達のニーズに合わせて、目的意識をもって意欲的に取り組める場を提供する。 今上期中の自主化をめざす。			小・中学生が書道に親しみ、基本の筆使いや字形の整え方などを学んでいくとともに、希望者には級の認定も行う。開催時間内、フレキシブルに来所し受講できるようにする。また、自主化を念頭に保護者に積極的なお手伝いを仰ぐ。毎月第2・第4火曜日		
17	プログラミングこどもサロン	令和元年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子どもを中心に保護者、地域の方々誰もが集える場作り、プログラミング活動を主に、遊びや、学習ができる学びの場。また、みんなで一緒に食事ができるサロンを作る。	4:子ども・青少年	5	地域主導のサロンに移行していく為、参加者やボランティアに、自主化(団体I)の担い手として活動してもらうため支援していく。企画、運営と一緒に試行しプログラミング講座を行う。第1土曜日		
18	子育て支援コーナー	令和元年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	2019年度設置し多くの方にご利用頂いたが、気軽に相談できる場、そして子ども、障害児の保護者同士の繋がり、また多世代の交流の場の拠点としてより一層広めていく事。	3:養育者及び乳幼児	5	子育て支援コーナーの周知の仕方を工夫し、広報誌に掲載したり、入口にチラシを貼るなど、ケアプラザをご利用したことのない人でも気軽にご利用頂けるように取り組む。そして対象を問わない気軽に相談できるケアプラザの周知を行う。		
19	あさひプレイパークみんなの基地がやってくる	平成30年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	身体を使って遊び方を感じ、遊びの中からおやこのスキンシップの取り方を学ぶ。交流の場の提供。	3:養育者及び乳幼児		段ボール、新聞紙などを使って遊んだり、粘土遊びなどを体験する。12月11日(金)		
20	わくわくハロウィン	令和元年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	地域の小学生にケアプラザを周知。白根に伝わる民話の紙芝居を通じての多世代交流。 町内をパレードすることによって、地域の交通危険箇所を確認しながら、地域と交流する。	4:子ども・青少年		紙芝居(妖怪もの)、仮装パレード、お菓子プレゼント。10月31日(土)		
21	団体Ⅱ交流会	平成30年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	登録団体間の交流とケアプラザからの確認事項の伝達の場とする。	5:地域		施設利用法について説明。事業告知と交流会。ゲーム・お茶を飲みながらグループディスカッション。6月30日(火)		
22	団体Ⅰ交流会	平成30年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	登録の他の団体の活動内容を知り交流、協力を得られるような情報交換の場とする。	5:地域		各団体の活動報告、懇談、交流。6月30日(火)		
23	団体Ⅱ認知症サポーター養成講座2	令和元年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	利用者のなかには認知症を発症される方もおり、今後増えることが予想されるため、メンバーの皆様にサポーターとして見守っていただくことで、ケアプラザでの活動が認知症になっても通うことのできる場所となる。	5:地域		認知症やサポーターについての講座を行った後、認知症のご家族を持つ方のお話を聞き理解を深める。また、グループワークで各々の想いを共有する。9月29日(火)・30日(水)		
24	ケアプラザ文化祭	平成30年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザを利用する文化系団体への発表の場の提供、サークル間の交流を目的とする。また、地域の方にケアプラザ及びケアプラザで活動するサークルを広報し、知って頂くきっかけとする。	5:地域		文化系団体による展示発表、体験コーナー、物品販売。 参加団体を中心に実行委員会を発足し、積極的に福祉保健活動に関わってもらつ。令和3年9月14日(日)		
25	防災訓練	令和元年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	災害・火事などの非常時に備え、実践に繋がる消防訓練・防災訓練を行う。	5:地域		CP職員・太陽の子白根保育園・CP利用者にも参加していただく。旭消防署に依頼し、消防訓練(通報・避難訓練、消火器・AED取扱い等)を実施。訓練後、防災食の試食会を行う。9月2日(水)		
26	白根夜メロ倶楽部	平成28年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	最近評判を聞きつけ近隣地域の高齢者の方の関心も高まっている。男性の生きがい作り、居場所になるよう、参加者が中心となって活動できるよう支援を行う。自主化につなげる。	5:地域		講師のアコーディオンの伴奏に合わせて男性が親しんできたロシア民謡やフォークソングや合唱などを選曲し、こだわりの歌声サロンとする。 毎月第1(土)18:00~19:30		
27	和布あそび	平成29年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	手や指を使う手芸を通して楽しみながら脳を刺激し、健康の維持、介護予防に繋げる事を目的に実施。9月後期までには自主化を目指す。	5:地域		つるし雛まつりでの作品展示に向けて、参加者の希望も聞きながら、講師に材料を用意して頂き進める。 毎月第4(土)9:30~12:00		
28	ジュニアボランティア福祉体験	平成30年	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	民生委員、地域と共に認知症サポーター養成講座を開催し、ジュニアボランティアが福祉への理解を深められるよう支援する。	4:子ども・青少年		ジュニアボランティアの小学生が、ケアプラザの機能や福祉について考える。認知症サポーター養成講座。8月4日(火)		
29	白根うどんマイスターⅡフォーアアップ	平成30年	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域の居場所づくりのきっかけと、地域で活躍できるボランティアの育成。白根うどんマイスターの自主化。多世代交流の場、第2回目でのうどん白根庵の開催を目的とする。	5:地域	4	うどん打ち実践、白根庵開催に向けてのリハーサル。白根庵開催。子どもボランティア参加。6月6日、14日・8月30日		
30	なかよし支援グループ	平成29年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	支援2年目として、地域が主となり実施出来ていけるよう導く。	2:障害児・者		月1度のパン作りと社会体験イベント実施。第3日曜日		

■ 事業

- 1: 地域活動交流事業 2: 地域包括支援センター運営事業
- 3: 生活支援体制整備事業 4: 共催 (1と2) 5: 共催 (1と3)
- 6: 共催 (2と3) 7: 共催 (1と2と3)

■ 事業の性質

- 1: 優先的に取り組みが求められる事業
- 2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1: 高齢者 2: 障害児・者 3: 養育者及び乳幼児
- 4: 子ども・青少年 5: 地域 6: 事業者
- 7: その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
31	なかよしマラランチ交流会	平成30年	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	なかよし支援グループの活動が自主的に 行えるように、主となるメンバーの交流に 力を入れる	2: 障害児・者		ケアプラザ内でランチ(実費)をしながら、 フリートーク。また、企画案や企画実施に ついては自由とし、気楽に会を行う。5月28 日・9月10日・3月6日		
32	夏休みリトミック	令和2年	1: 地域活動交流事業	2: 発展させる ねらい	以前リトミックに参加していた、幼稚園・保 育園に通う子供たちの夏休みの親子の居 場所づくりの子育て支援。	4: 子ども・青 少年		講師によるリトミック講座7月27日・8月11 日、25日		
33	夏休みジュニアマーじゃん	令和3年	1: 地域活動交流事業	2: 発展させる ねらい	夏休み期間の小学生の余暇の居場所つ くりを支援する。	4: 子ども・青 少年		マーじゃんを小学生向けに改良し、ゲーム として楽しむ。ゲームを通して、交流を図 る。夏休み期間3回		
34	夏休み開放デー	平成30年	1: 地域活動交流事業	2: 発展させる ねらい	小学生にもケアプラザの存在を知ってもら う。また、ケアプラザの講座に参加された 方に再度来ていただく場を提供する。	4: 子ども・青 少年		誰でも参加可能が多すぎたりしないよ う、また、どの地域からの来所か知るため に申込制とする。夏休みの宿題のアドバ イスができるボランティアもお願いする。8 月7日、28日		
35	ケアプラザ音楽祭	平成30年	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	ケアプラザで活動している音楽系団体の 発表の場とし、サークル間の交流をはか るとともにケアプラザを周知するきっかけ とする。	5: 地域		日頃の活動の成果を発表する機会とし、 各サークルや多くのボランティアさんにも 協力してもらい、皆で音楽祭を作り上げ、 達成感や地域と繋がりを深める。9月26日 (土)		
36	むくどりの家新年交流会	令和元年	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	障がいのある当事者との交流を目的と し、地域での居場所としての役割を持つ。	2: 障害児・者	5	①食事作り②飾り付けと会場設営③受付 開始④配膳・自己紹介⑤食事&歓談⑥お 楽しみ会 太陽の子白根保育園園児によ る歌の発表。むくどりの家音楽サークルに よる演奏。手品を楽しむ。令和3年1月25 日(月)		
37	つるしびなまつり	平成28年	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域の方々の手作りのつるし飾りやひな 飾り、和小物等を貸していただき、展示す る。太陽の子白根保育園と共催で開催 し、地域の方の交流の場とする。	5: 地域	3	令和3年2月28日は玄関ホール・多目的 室・太陽の子白根保育園に展示。 令和3年2月28日～3月3日・・・玄関ホール と太陽の子白根保育園に展示。		
38	子育てボランティア支援講座	令和2年	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	子育て中のママや、その家族、また、子育 てボランティアに興味のある地域の方を 対象に、子育てのアドバイスをして参考に してもらう。また、保育ボランティアの発 掘、養成にもつなげる。	5: 地域	3	ひなたぼっこから講師を招いて、座学、体 験、交流の3部構成の講座。10月13日 (火)		
39	羽沢横浜国大駅をめざして(ま ちを知ろう！ふるさとウォーキ ングvol.15)	令和2年	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	高齢者のひきこもり防止に外に出る機会 をつくり、ウォーキングを通して健康作りと 仲間作りの場を提供する。	5: 地域		2019年11月30日に開業した地元の新ス ポットである羽沢横浜国大駅までの ウォーキング。歩行距離:(片道)約4.5km。 行程(案):(集合)白根ケアプラザ→西谷富士 山神社→西谷地区センター(トイレ休 憩)→羽沢横浜国大駅(解散)10月5日 (月)		
40	ながーい恵方巻きみんなで巻 いちゃお	平成30年	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	自分の出来る事を活かして、地元地域を 盛り上げたい子育て中のママさんグルー プの活動を支援する。文化を通じ子供だ けではなく、地域の皆様との交流を図り、 ケアプラザを知ってもらうきっかけとし たい。記録更新目標。	4: 子ども・青 少年	5	①ケアプラザあいさつ②前田講師より恵 方巻きの話、作業の流れ、注意点等説明 ③恵方巻きづくり④試食		
41	帷子川の源流を訪ねて(まちを 知ろう！ふるさとウォーキング vol.16)	令和2年	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	高齢者のひきこもり防止に外に出る機会 をつくり、ウォーキングを通して健康作りと 仲間作りの場を提供する。	5: 地域		白根ケアプラザ(集合)～親水公園～鶴ヶ 峰バスターミナル(バス乗車)＝川井宿バ ス停～川井地域ケアプラザ(軽食・トイレ 休憩)～帷子川水源～若葉台中央バス停 (解散) 歩行距離:約6km12月2日(水)		
42	空き室地域へひらく・活用づくり	令和2年	1: 地域活動交流事業	2: 発展させる ねらい	登録団体へ空き室利用の仕方を周知。地 域に部屋を有効に活用していただく事を 目標に行う。	3: 養育者及 び乳幼児	1・5	登録団体に空き室をもっと活用していただ けるようシステム化する。また、当日空い ている部屋を活用したいと、学生や子育 て中の方などに、安心安全にご利用頂け るよう、集いの場所として提供する。		
43	食品衛生講座	令和2年	1: 地域活動交流事業	2: 発展させる ねらい	登録団体 I の食品を扱う団体に、食品を 扱うにあたって、安心安全な衛生管理の 中で活動を行って頂くための講座。新しい 団体、うどんマイスターには全員に参加を 促す。	5: 地域		食品衛生のための講座。ケアプラザから 調理室の利用について説明を行う。講座 の最後に質疑応答の時間を設ける。7月 30日		
44	ケアプラザ大掃除	平成30年	1: 地域活動交流事業	2: 発展させる ねらい	登録団体同士の交流及び、ボランティア 活動の一環として実施。	5: 地域		各部屋の清掃項目、担当グループを説 明。協力しながら作業を行う。12月6日 (日)		
45	めばえ卒会	令和2年	1: 地域活動交流事業	2: 発展させる ねらい	めばえ卒業代表三輪氏と共催で、障害を 持つ子供と親で運動を楽しむことで、運動 機能の向上を図るとともに親子間のスキ ンシップ・コミュニケーションを深める。現 状めばえ卒業生同士の交流を図る場がな いため、定期的に集まり情報交換や交流 を図る場とする。	2: 障害児・者	3	ボール・障害物遊びを通して、子どもの発 達・成長に必要な動きの基礎を楽しく無理 のない程度で身に付ける。後半の時間は 講師も交えお茶を飲みながら情報交換や 交流を図る。		

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
46	クレーン白根サロン	令和元年	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	高齢者専用住宅において、住民同士が互いに見守り、支え合える関係づくりのための場を作る。	1:高齢者		住民同士の情報交換や交流が図れる茶話会の継続開催支援。ケアプラザからの情報提供や講座等を行う。 6月・10月・令和3年2月、金曜日開催。		
47	白根地区ボランティアグループ連絡会(仮)	令和2年	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	住民アンケートにて手上げてくれたメンバーでボランティアグループを立ち上げる。アンケートで出てきた課題を地域の中で解決する、支え合いの仕組みをつくる。	5:地域		ボランティアの組織化へ向けた支援。地域の困りごとの共有とそれを地域で解決するための検討や実際の活動の支援。 6月より毎月開催。		
48	よこはまシニアボランティアポイント説明会	令和2年	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	元気な高齢者がボランティア活動を行うことにより、本人の健康維持と介護予防、社会参加・地域貢献を通じた「生きがいづくり」の推進ができること。	1:高齢者	5	よこはまシニアボランティアポイント説明・登録を行う。 10月開催。		
49	「災害に備える！」	令和2年	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	災害時にも対応できる地域のネットワーク構築。	5:地域		・消防局からの講義「防災用備蓄物品について」 ・防災備蓄食のアレンジ紹介 5/9(土)		
50	癒介市場～ゆかいマルシェ～	平成30年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者同士や認知症サポーターを交えてのピアカウンセリング等を行う介護者サロン。ご希望のあったテーマを取り上げていく。	1:高齢者	5	7月より4回開催		
51	施設、事業所連絡会	令和2年	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	地域住民と地域で事業展開している福祉施設等関係機関とのネットワークを構築し、包括的継続的マネジメントの展開を図る	5:地域		白根地区支え合い連絡会の場等から呼びかけて、福祉サービス事業所同士の連絡会を開催。		
52	白根メディカル連絡会	令和2年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	医療や介護関係者の協力のもと、地域の方々が生み慣れた町で暮らし続けることを共に考えられるようになる。	5:地域	6	医師、協力医による講演会を開催。医療を通じ、地域に従事している介護保険サービス事業者、ケアマネジャー、地域の方々との意見交換会を開催 9月・令和3年3月開催		
53	介護保険制度説明会	令和2年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	住み慣れた白根地区で暮らし続けられるために、介護保険制度を上手に利用し、重篤な状態にならないよう予防的観点でも活用できることを啓発していく。	1:高齢者	5	介護保険制度の説明、インフォーマルサービスの紹介。		